

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

## 事業名 ぎふ清流文化プラザ等芸術振興補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2613)

E-mail: [c11226@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11226@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 18,647 千円 (前年度予算額：18,790 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	18,790	9,395	0	0	0	0	0	0	9,395
要求額	18,647	9,323	0	0	0	0	0	0	9,324
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせて実施される全国的な文化プログラムの流れに沿って、本県でも障がい者の芸術文化活動のさらなる振興を図るとともに、「障がい者の文化芸術活動の拠点」をコンセプトの一つとするぎふ清流文化プラザを中核とした障がい者芸術の支援に取り組む必要がある。

また、平成30年6月13日に「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行され、障がい者の芸術文化活動に関する施策をより一層進め、障がい者の社会参加を促進する必要がある。

### (2) 事業内容

「障がい者の芸術文化活動の拠点」であるぎふ清流文化プラザを中核として、障がい者芸術作品の展示、舞台芸術の発表会・交流会の開催などにより情報発信を行うとともに、県下5圏域での芸術教室の開催や障がい者施設への芸術家(講師)派遣などを実施し、障がい者が芸術に触れ、体験する機会を拡大する。

また、芸術文化活動を行っている障がい者の発掘を行うとともに、県内の障がい者の芸術文化活動を総合的に支援するコーディネーターを設置する。

- ①ぎふ清流文化プラザ等での芸術作品等の設置
- ②舞台芸術、音楽（パフォーミングアーツ）のコンサートの開催
- ③芸術教室の開催
- ④障がい者施設への芸術家（講師）派遣
- ⑤インターネット上での障がい者と支援者の交流
- ⑥障がい者アートバンク事業
- ⑦ぎふ清流福祉エリア利用促進事業
- ⑧障がい者文化芸術コーディネーターの設置
- ⑨障がい者ふれあい福祉フェアの実施

（３） 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2    県 1 / 2    国庫補助 [地域生活支援事業]

（４） 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	18,647	ぎふ清流文化プラザを中核とした各種芸術振興事業に対する補助
合計	18,647	

**決定額の考え方**

4 参考事項

（１） 各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（障がい者の芸術文化活動への参加促進）
- ・ 第2期岐阜県障がい者総合支援プラン（障がい者の芸術文化活動の振興）

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業            |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
既に芸術活動に取り組む障がい者の一層の創作意欲の向上及びこれから芸術活動に取り組む障がい者の裾野拡大を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
		(H24)	(H29)	(前々年度末時点)		
芸術教室の参加者数	— (H24)	147 (H29)	193 (H30)	229 (H31)	230 (R3)	99.6%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

#### <障がい者芸術教室の開催>

圏域	実施回数	参加者数	内容
岐阜	4回	82名	フェルト、版画、ちぎり絵、ワークショップ
西濃	2回	29名	フラワーアレンジメント、ちぎり絵
中濃	2回	21名	書道、陶芸
東濃	3回	57名	版画、フラワーアレンジメント
飛騨	2回	40名	書道、陶芸
合計	13回	229名	

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
県下5圏域での芸術教室の開催など、障がい者が芸術に触れ、体験する機会が拡大されたとともに、引き続き、ぎふ清流文化プラザを拠点とした事業を展開して、芸術文化活動を通じた社会参加の促進を図る。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
○	障がい者の芸術文化の社会参加を促進するため、「障がい者の文化芸術活動の拠点」である「ぎふ清流文化プラザ」を中核として、芸術活動支援に取り組む必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
○	ぎふ清流文化プラザの有効活用を促進するとともに、県下全域での更なる裾野拡大の取組みを実施し、障がい者が芸術に触れ、体験する機会を拡大しており、事業の有効性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
○	ぎふ清流文化プラザ内のセミナー室や長良川ホールの有効活用を図るなど、事業実施の効率性は図られている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 障がい者芸術には多彩な分野があり、創作活動のレベルにも差があるため、それぞれの分野やレベルに応じた支援方法を検討する必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 障がい者芸術には多彩な分野があり、創作活動のレベルにも差があるため、それぞれのニーズを把握し、障がい者の芸術活動の総合的な支援を展開する。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	